

な姿勢で地域の事柄に参加し、それが中日関係に Win-Win 協力の新しい契機をもたらすことを期待し、またそれを確信しています。

国際レベルにつきましては、中日は共に世界的に重要な影響を及ぼす大国であり、人類の平和発展事業を共に推進し、永久平和、共同繁栄という和諧世界の建設を推進しなければなりません。多くのグローバルな課題において、我々是对話を強化し、共有認識を積み上げ、協力を推進することができます。近年来、双方の外交当局は、国連改革、アフリカの発展、気候の変化、発展途上国援助などの問題につき、誠意ある対話を展開してきました。これらの対話が絶え間なく深まることにより、相互理解と共通認識は必ず漸次深まり、協力の空間は新しい展開を見せると信じています。

第三、国民感情の改善に力を尽くし、両国関係の民意基盤を絶え間なく強めることです。古人は、「山川異域たりとも、風月同天」、「唐宋時代の遣使、車書万里みな同じ」という言葉を用いて、中日両国が地理的に近いこと、往来の久しいことを形容しました。この悠久なる往来の歴史は、一貫して両国人民の感情を結びつける重要な紐帯でした。近年来、両国関係は大政治環境の複雑な変化の影響を受け、両国国民の感情が悪化し、相互の誤解と偏見が増加しました。我々は、歴史と未来に対して高度の責任を負うという態度でもって、事の重大さを認識し、諸般の措置を講じ、速やかに状況を変えなくてはなりません。

一つには、人の交流、とりわけ青少年の交流を拡大することです。中日関係の発展が深まるにつれ、両国人民が全面的に参加する「大交流」の大波が形成されつつあります。近年来、中日双方は、民間交流拡大のため、多くの措置を講じ、青少年を主とした相互訪問の交流計画を相継いで実施しました。今年9月、双方は、上海虹橋・東京羽田の航空路線を開通させ、3万人の大交流計画を積極的に実施しました。これらの措置は、両国各界に大きな反響を呼びました。今後、両国政府及び関連部門は、積極的に条件を整備し、両国人民が更に直接的且つ円滑に往来ができるようになります。

二つ目は、文化交流を強化することです。中日文化の共通性は至る所に見られ、文化交流は

とりわけ有利な条件下にあります。今年、双方は中日国交正常化35周年の主要テーマとして、「中日文化スポーツ交流年」、「日本中華年」など大規模な一連の文化交流活動を成功裡にやり遂げました。来年は、ちょうど中日平和友好条約締結30周年、また北京五輪の年でもあり、中日文化交流は重要なチャンスに直面しています。双方は、これらの有利な要素を充分に利用して、影響力のある交流項目を設定し、両国人民の心がより一層通い合うようにします。

三つ目は、両国のメディア交流を推進することです。情報化時代において、メディアは両国民衆が相互に理解しあう主要な経路であり、影響力は絶大です。メディアの報道が、公平、公正、理性的であるかどうか、また客観的、全面的、均衡的であるかどうかは、中日関係における安定且つ健全な世論環境をもてるかどうかに関係してきます。双方は、この点について、長期にわたって弛まぬ努力を傾注すべきであり、私は、双方のメディアが更に交流を強化し、共通認識を増進し、両国関係の社会世論環境をより良くするために建設的役割を發揮することを特に期待します。

中国の発展は世界と切り離すことができず、世界の発展もまた中国を必要とします。長期にわたり中国は、世界各国、とりわけ貴国の経験と成果を積極的に参考とし、吸収し、対外経済技術協力を不断に強化し、社会、人文など各領域の交流を推進し、自国を力強く発展させてきました。これは、中国改革開放30年間の認識と実践において大変貴重な収穫であり、同時に中国人民の世界平和維持、共同発展促進の重要な道筋でもあります。中国人民は、このような理念を一貫して主張し、平和発展の道を揺るぐことなく歩み、Win-Winの開放戦略を実行し、平和的国际環境を通じて自国を発展させ、また自国の発展を通じて世界の平和を維持し、共同発展を促進します。中国は、永遠に覇権を求めず、いかなる国家に対しても、脅威を与えることはしません。貴国を含む世界各国の人民が、中国の発展に引き続き関心を払われ、それを理解し、支持され、中国人民と共に、調和と共生の美しい世界をつくるよう希望します。

(翻訳と編集：凌星光)